



プレキャスト・コンクリート建築協会（PC建協）と東北地方整備局との意見交換会が、9月10日、仙台市内で開かれた。同局が主催する「PC床版の活用に関する技術交流会」の一環として開催された。同局は、PC床版の活用を促進するため、一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。

**PC建協 PCa PC床版活用を 意見交換 一括審査適用拡大も**

東北整備局と、同局は、一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。

一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。同局は、PC建協と連携し、一括審査方式の導入を推進している。



東北地方整備局との意見交換会

意見交換会開催状況

発注機関名	開催日	発注機関出席者
1 沖縄総合事務局	7月2日	尾澤次長他13名
2 中国地方整備局	7月24日	尾藤局長他14名
3 九州地方整備局	7月30日	金尾局長他15名
4 四国地方整備局	8月5日	三浦局長他12名
5 北陸地方整備局	8月26日	野田局長他9名
6 中部地方整備局	8月28日	八坂局長他12名
7 近畿地方整備局	9月4日	森局長他10名
8 東北地方整備局	9月9日	縄田局長他12名
9 関東地方整備局	9月17日	越智局長他14名
10 北海道開発局	10月14日	岡部局長他11名

意見交換会テーマ

1. インフラ長寿命化への対応-PCの専門技術力を効果的に活用
  - (1) 橋梁長寿命化対策にPC建協が加わる検討会の設置を提案
  - (2) 老朽化した鋼橋RC床版の効果的な対処方法の提案  
—床版の全面取替えに有効なプレキャストPC床版の活用—
2. 事業の効率的な執行に向けて —PC工事の特性と実態を踏まえて—
  - 多様化する入札制度への提案
    - (1) 一括審査方式
    - (2) 段階選抜方式
3. 若手技術者の育成 —魅力的な職場づくり—
  - 若手技術者育成を促進する施策
    - (1) 専任補助者制度を活用するための方策
    - (2) 若手技術者の育成促進のために  
—PC建協からの提案「若手支援評価型(仮称)」の採用を—
4. 支部独自テーマ
  - 官民合同の技術力向上のために、技術講習会の開催を  
(北海道開発局)
  - PC橋の品質確保・向上に向けて  
高耐久PC桁の普及に向けての取り組み(東北地方整備局)

#011

# PC建協だより

## 平成26年度の意見交換会を終えて

PC建協では、7月2日の沖縄総合事務局を皮切りに10月14日の北海道開発局まで10か所の地方整備局等で意見交換会を実施しました。

(広報委員会)

### 総括

理事会において、次のように意見交換会の総括を取り纏めました。

- 8の地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局と何れも活発かつ有意義な意見交換会が開催できた。特に本年度は、全ての発注機関とフリートークが行われ若手技術者の活用・育成などの双方が喫緊の課題となっていることで活発なフリートークが実施できた。
- 会員各社（PC事業者）の土木技術者年齢断面・離職状況調査や現場実態調査等の客観データがフリートークのネタとして有効な資料であった。
- 橋梁長寿命化対策にPCの専門技術力を活用するための検討会の設置提案について、既存の委員会や研究会を活用して対応して頂きたいと概ね好意的に受け止められた。また、若手技術者登用・育成などの入札契約制度の提案やPC建協独自の広報活動（専門家派遣、現場見学会他）に対し良く理解していただいた。
- 床版の全面取替えに有効なプレキャストPC床版の活用については、品質、工期短縮、全面通行止めの回避や労務
- 若手技術者の育成・魅力的な職場づくりについては、専任補助者制度は殆ど活用されておらず、活用に向けたPC建協の提案は概ね理解された。
- 「若手支援評価型(仮称)」の提案については、提案の趣旨・内容については概ね理解していただいたものの、一部の地方整備局では品質確保・保証の担保を懸念する意見があった。尚、2地方整備局でPC建協提案に類似した制度を採用していただいた(東北、北陸)。
- 一括審査方式の採用の促進については、どの地方整備局でも事務量軽減などのため実施する方針であり、今後対象となる工事があればまたは条件が揃えば前向きに実施との回答があった。
- 不足への対策などに有効であるとのご理解は頂けた。但し、コスト高、ランニングコストの評価が難しく橋梁個々の損傷度合いや環境条件、コスト等を総合的に判断して採否を検討しているとのことであった。

### 全国各地で現場見学会開催

(北海道支部)

平成26年10月10日、北海道開発局函館開発建設部函館道路事務所が主催し、PC建協北海道支部が後援した現場見学会が開催されました。対象現場は、函館江差自動車道 木古内町 大釜谷川橋上部工事であり、木古内町関係者を含め総勢30名の参加がありました。



桁内部にて



見学会風景

現場見学会開催状況【実施済み】

支部名	開催日	現場名	対象者	参加者数
北海道	10月10日	函館江差自動車道 木古内町大釜谷川橋上部工事	木古内町地域住民	30
東北	7月23日	多賀城地区上部工事 高崎地区PC上部工事	東北学院大学 工学部 環境工学科3年生	109
関東	4月26日	SMCコンクリート橋 関東工場	日本大学 理工学部 土木工学科	14
	7月22日	桶川第二高架橋	日本大学 理工学部 土木工学科	9
北陸	5月20日	永平寺大野道路 松岡高架橋	福井工業大学 建築生活環境学科3年生	16
	8月6日	城山高架橋(その1~3)	金沢大学 理工学域デザイン学類3年生	71
中部	5月10日	新東雲橋、本線1号橋	岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	24
関西	11月20日	新名神高速道路 京田辺高架橋(PC上部)工事	関西大学 環境・建設工学科 都市システム工学科	35
中国	6月18日	多岐朝道路口田橋 第1高架橋	松江工業高等専門学校 環境・建設工学科2・3年生	80

本橋は、橋長298.0m、幅員11.15m、支間77.0m+136.0m+83.0mの3径間連続PCラーメン箱桁橋です。現場見学会は、工事進捗状況、事業効果、PC構造、および張出架設法についての概要説明を行った後、地上40mの橋面に移動しました。函館江差自動車道は北斗茂辺地IC(木古内IC(仮称))の16kmで建設が進められており、同区間は平成31年度の開通予定です。

## 中部地方整備局・PC建協 合同パトロール実施

PC建協中部支部では、毎年工事発注機関と合同で工事現場の安全パトロールを実施しています。平成26年10月9日に、中部地方整備局発注の「東海環状上高架橋PC上部工事（PC9径間連続箱桁橋L1361.8m）」において、中部地方整備局職員とPC建協中部支部安全環境部員（総勢20名）による合同安全パトロールを実施しました。上高架橋工事は東海環状自動車道と東海北陸自動車道が接続する美濃関ジャンクションに近接する



合同パトロール状況

2期線の上部工事です。施工にあたっては、すでに供用している1期線との近接施工となること、さらに超高压送電線（27万5千V）が工事個所に並行して上空にあることから、資材の飛散防止、クレーン作業等における感電災害の防止等が特に重要な安全対策としてあげられる現場です。

安全パトロールでは、現場作業所長から工事の概要説明、安全対策として一部門型移動式クレーンの採用、GPS受信アンテナを活用した3Dクレーンブーム位置監視システムによる監視の取組み等の説明を受けた後、現場の点検を行いました。最後に反省会で改善点等、指摘事項を出し合い、更なる安全対策への取組みを図りました。

## 平成26年度 第37回全国安全 研修会開催

平成26年11月20日に、PC建協安全環境部会及び各支部合同（総勢49名）による全国安全研修会が初めて沖縄で開催されました。

本研修会は各支部安全環境部会員の安全・環境に対する勉強会を目的にしています。

はじめに、沖縄総合事務局発注の

規模の概略計画を公表しているところですが、事業の中心が床版取替え工事であり、その実施にあたってはPC床版の生産能力の確保、事業の円滑な実施のための発注方法の見直し等が課題になるとして、3社より、これらの課題解決に向けて当協会と実務的な意見交換等を行って行きたいとの協力依頼を受けています（今夏のNEXCO各社との面談等の場において）。これに対し、PC建協としてはできる限りの協力を行うことを表明しております。

## ■NEXCO床版委員会の設置

このような状況に対処するため、PC建協内にこの問題について検討するためのNEXCO大規模更新床版特別委員会（略称「NEXCO床版委員



研修会風景

「那覇港（浦添ふ頭地区）臨港道路（浦添線）海側橋梁上部工事（PC11径間連続箱桁橋L11837m）」において、安全パトロールを実施しました。現場は台風が多い地域の海上工事に対する対策がなされてい

ました。その後、研修会場に移動しました。本部から、「第3四半期安全成績及び今年の災害発生状況の発表」と「危険体感教育研修体験」の報告が行われました。続いて関東支部からは『東京五輪に伴うリニューアル工事「つり足場の災害」について』の報告がありました。

研修の最後に現場独自で実施され

（会）を理事会直下の特別委員会として設置しました。

（9月11日理事会承認、9月24日委員会発足、委員は理事会メンバー会社14社から招集）  
委員長 藤本良雄（㈱富士ビー・エス）  
副委員長 春日昭夫（三井住友建設㈱）

## ■活動状況等

現在、NEXCO3社との意見交換等に備え、PC建協会員企業が行っている床版取替え工事の実態を調査し、検討課題の洗い出しを進めています。

## 【検討課題】

- ・PC床版の生産能力
- ・効率的な工事実施方法
- ・事業の円滑な実施のための、規格等の標準化、事業手法のあり方

## NEXCO床版委員会の設置 と活動状況について

### ■NEXCO3社からの要請

NEXCO3社は「大規模更新・大規模修繕計画（概略）」として3兆円



全国のPC工場

ている安全ポイントによる表彰、ポイント数に応じた安全用品の交換制度等、安全意識の向上心を高める内容の報告がありました。

翌21日は、琉球王国時代より歴史のある波之上宮（なみのうえぐう）にて安全祈願を行いました。

## 技能労働者の処遇等に関する 工事業協会との連絡会議の支 部への展開

PC建協は、25年6月、技能労働者の適切な賃金水準の確保や社会保険未加入問題を改善するため、PC



連絡会議風景

**編集委員会** 木下賢司(編集委員長)、 櫻福浄(編集副委員長)、 有馬浩史、 竹本伸一、 鈴木義児、 的場純一、 松嶋憲昭、 小山康寛、 高松正伸、  
**編集幹事会** 手賀由成(幹事長)、 松山高広(副幹事長)、 廣部永隆(副幹事長)、 白石紀之、 胡信弘、 齋藤公生、 浅見聡、 西口直樹、 太田誠、 吉田健治、 清水郁子、 山口拓也、 西永卓司

## 編集後記

今号では先駆的なPC橋が多い神奈川を特集し、日本初のPC箱桁曲線橋の米神橋、世界初のエクストラードP.C橋の小田原ブルーウェイブリッジ、デザイン性に富んだ神秘的な陣ヶ下高架橋、江の島・酒匂川に架かるたくさんのPC橋をご紹介します。正月の箱根駅伝のランナーが走る東海道で、今号で取り上げたPC橋がいくつ見られるのか、別の意味でも箱根駅伝が楽しみになりました。

また、特別企画では則久会長を囲んで日本で活躍するアジアの方達に話を聞かせて頂きました。日本の企業を選んだ目的、今後のビジョンをはっきりと持っておられ、PC業界の発展にはダイバーシティが重要である事を再認識する機会となりました。

こんなところにも、あんなところにも多種多様に使用されているPC技術に一人でも多くの方に興味を持って頂き、PCのファンになって頂ければ幸いです。(浅見)